

ニュースポーツ紹介

令和2年度は、コロナ禍により、ニュースポーツの紹介や研修会ができませんでした。そこで、茅ヶ崎市スポーツ推進委員協議会で研修している主なニュースポーツを紙面で紹介します。

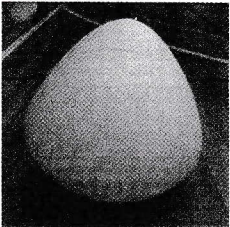
茅ヶ崎 ワンバウンドバレー

概要

ワンバウンドふらば～るバレーを茅ヶ崎市スポーツ推進委員協議会でアレンジしたニュースポーツです。試行錯誤を重ね2019年9月に競技規則を作成し、普及活動に取り組んでいます。茅ヶ崎ワンバウンドバレーは、既存のバドミントンコート、ネット等を利用して、おむすび型の変形ボールを使って行うバレーボール型のニュースポーツです。軽い変形ボールを使用する為、スピードが遅く突き指の心配がないこと、ボールの飛ぶ方向に意外性があり予測が付けにくいことから、バレーボールが得意な人が必ずしも有利ではないというように、上手い下手に関わらずゲームを楽しむことができます。

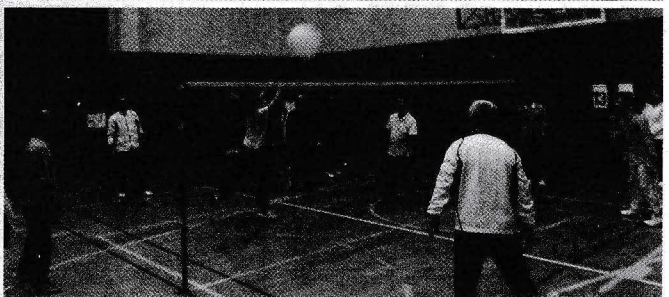
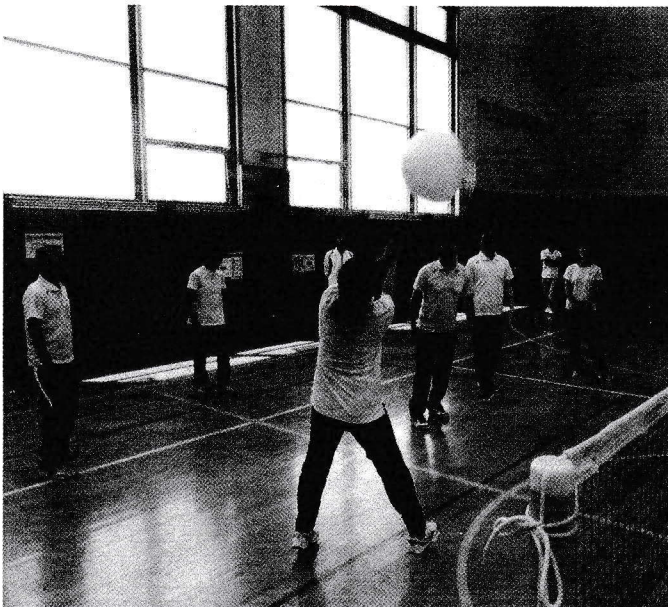
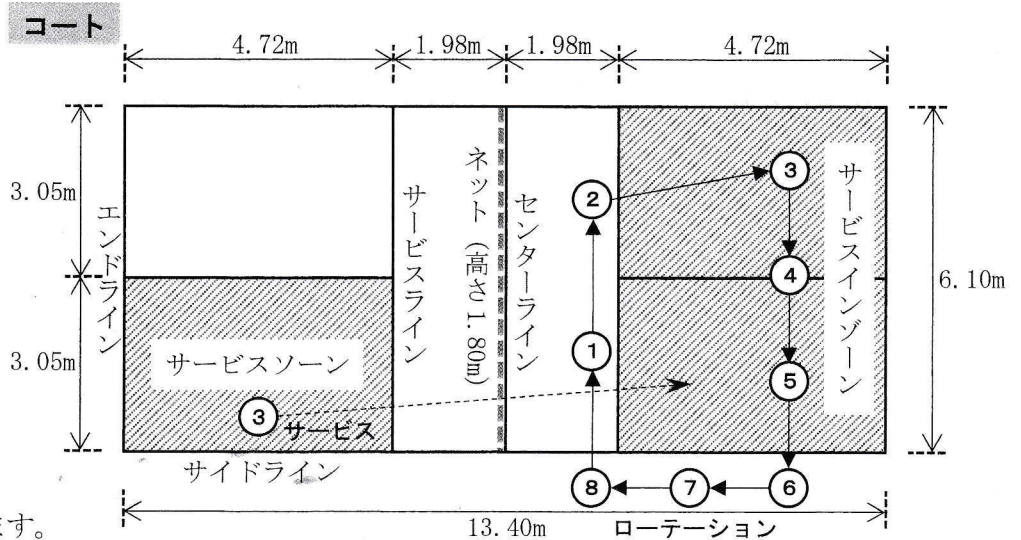
用具

ボール



50cm×40cmの
おむすび型変形ボール

バドミントンの
ダブルスコートを使用します。



ゲームの進め方

1. 両チームは試合開始前と終了時にサーブラインに整列します。
2. ジャンケン等で最初のサービスを取るか、コートを取るかを決めます。
3. コート内の競技者は5人で、前衛2人、後衛3人です。
サービス時はこのポジションを維持します。サービスが行われた後はどこに動いてもかまいません。
4. サービスは、後衛右側③のポジションの競技者がサービスゾーンからサービスインゾーンにアンダーハンドで打ちます。
サービスおよび相手からの返球はワンバウンドさせてからレシーブします。
2回目以降はノーバウンドで、3回以内に相手に返球します。1回で返球することはできません。
5. 得点はラリーポイント制で、サーブ権を得たチームは、右回りにローテーションします。
コート外の参加者を含めて全員でローテーションします。
6. 15点を先取したチームが、そのセットの勝者となります。1ゲームは3セットマッチとし、2セット先取したチームがゲームの勝者となります。
7. 2セット以降のサービス開始は、前のセットでサービス権を行使しなかったチームが行います。
8. コートはセットごとに交替します。第3セットはいずれかのチームが8点先取したときにも交替します。

主な反則

1. ローテーション順を誤ってサービスを行ったとき。(サービス順の誤り)
2. サービスゾーンのラインを踏むまたは踏み越してサービスを行ったとき。(フットフォルト)
3. サービスが打たれた瞬間に両チームの各競技者が、コート内で正しいポジションに位置していなかったとき。(アウト・オブ・ポジション)
4. サービスされたボールが相手競技者に触れずに、サービスインゾーンの外側に落ちたとき。(フォルト)
5. ネットを超えてきたボールをワンバウンドさせずに触れたとき。(ノーバウンド)
6. 1回で相手チームに返球したとき(ワン・リターン)
7. ボールへの接触が3回を超えたとき。(オーバータイムズ)
8. 明らかにボールが止まるようなプレーのとき。(ホールディング)
9. インプレー中、競技者がネットに触れたとき。(ネットタッチ)
10. 同一競技者が2度続けてボールに触れたとき。(ドリブル)
11. 脚から下でボールに触れたとき。(フットボール)
12. 相手のコート内でボールに触れたとき。(オーバーネット)
13. プレーを妨害したとき(インターフェア)
14. イン・アウトは接地点ではなく、投影で判定します。

